

## 県大生と4年ぶり尾川踊り 佐川町



県大生と住民が尾川踊りを披露して盛り上がる会場(佐川町本郷耕)

【佐川】佐川町本郷耕の「ふれあいの里 尾川」で21日、「おがわ秋まつり」が4年ぶりに開かれた。高知

県立大学の学生が地区に伝わる「尾川踊り」を住民と披露したほか、花火も盛大に打ち上げられ、訪れた人たちは和やかな時間を楽しんだ。

住民グループ、尾川地区活性化協議会の主催で15回目。県大の学生団体「活輝

創生実行委員会」が、司会進行や出店での飲食の販売などを手伝って開催してきたが、新型コロナウイルスの影響で2020年以降は中止が続いていた。

ステージでは住民らによるバンドや太鼓などの演奏が披露され、大いに会場を盛り上げた。終盤、学生たちが3カ月ほど前から練習を重ねてきた「尾川踊り」が始まり、優雅な踊りで見物客を魅了した。

県大3年の田中小夏さん(21)は「踊りを通じて地域の人との距離が縮まり、楽しく踊ることができた。来年もまた踊りたい」と目を輝かせていた。

(乙井康弘)